

## 科学と環境教育連携プロジェクト活動報告～地学教材の開発とモデル授業の紹介～ The report of Science and Environmental Education Project, introduction of geological materials and programs.

津田 和英<sup>1\*</sup>, 山川 勇一郎<sup>1</sup>, 山崎 宏<sup>1</sup>

Tsuda Kazuhide<sup>1\*</sup>, YAMAKAWA Yuichiro<sup>1</sup>, YAMAZKI Hiroshi<sup>1</sup>

<sup>1</sup>NPO 法人ホールアース研究所

<sup>1</sup>NPO Whole Earth Institute

### [はじめに]

「科学と環境教育連携プロジェクト」は、研究者・自然ガイド・学校教員などが連携して、自然科学をテーマにした教育コンテンツを開発、その魅力を広く市民に発信する静岡発のプロジェクトです。

### [目的]

自然科学分野において重要な役割を果たす「研究者」「インタープリター(=自然ガイド)」「学校教員」という、異なる主体が連携し、内容・手法の両面においてよりよい教育の在り方を検討し、環境教育の質的向上を図ります。その成果は「教材」及び「モデル授業」として集約し、静岡県内の高校等での授業実施や指導者用教材の開発、教材レンタル等を実施します。またローカルテレビやウェブサイト等を活用して広く情報を発信します。これらを通じて、自然科学の知見を兼ね備えた次世代の環境人材を育成し、以って持続可能な社会作りに寄与することです。

### [成果]

3つのモデル授業とハンズオンの要素を含む12種類の教材を開発し、出張授業では現在まで高校に於いて合計23回924名に対して実施しました。授業前後のアンケートより多くの生徒から楽しいという意見が聞かれ、静岡の成り立ちへの理解向上が著しかったです。また生徒自身の地域への興味、野外活動への関心も2割の向上が認められました。

その他、静岡科学館る・く・るでのワークショップにおいて一般向けの普及啓発、教員向け研修会の実施、伊豆半島ジオパークガイド等の社会教育リーダー向けの講習会も実施しています。

本プロジェクトは「三井物産環境基金」及び「みやしん地域振興協力基金」の助成を受けて実施されました。感謝いたします。

キーワード: 地学教材, モデル授業, インタープリター

Keywords: Geological education materials, Educational programmes, Interpreter